

平成28年度 東京都環境マネジメントシステム

日常業務活動に関する目的・目標・プログラムの実施状況管理結果

【廃棄物】 環境目的：庁内廃棄物を減量する。
リサイクルを推進する。

局	部	目標	前年度実績	平成28年度実績(t)	達成度
			平成27年度実績(t)		
総務局	公文書館	日常の廃棄物量を抑制する。	2.43	2.41	A
	大島支庁	廃棄量を前年度実績の100%以下にする。	7.1	7.2	B
	三宅支庁	日常業務における廃棄量削減に努める。	14	10.3	A
	八丈支庁	前年度水準の発生量を目指す。	6.24	4.24	A
	小笠原支庁	リサイクルを推進し、ゴミ排出量について前年同レベルを維持する。	8.5	8.5	A
	局計		38.27	32.65	
財務局	(新宿庁舎全体)	新宿庁舎の事業所系ごみ発生量について、27年度水準の10%増以内とする。	2349	2127	A
	(新宿庁舎全体)	新宿庁舎の事業所系ごみのリサイクル率について、88%以上を目標とする。	93.5%	92.8%	A
主税局	(出先機関全体)	廃棄量を対前年度比+2.3%以内(181.8t)に抑制する。	177.8	158.7	A
生活文化局	(出先機関全体)	前年度の水準を維持する	13.20	28.041	B
都市整備局	第一市街地整備事務所	前年度より廃棄物を減らす。	34.9	18.0	A
	第二市街地整備事務所	前年度廃棄量の維持に努める。	3.99	3.50	A
	多摩建築指導事務所	前年度より廃棄量を削減する。	1.03	0.58	A
	多摩ニュータウン整備事務所	前年度比5%削減とする。	1.81	0.72	A
	東部住宅建設事務所	前年度水準以下に抑制する。	9.3	9.6	B
	西部住宅建設事務所	前年度水準以下に抑制する。	1.29	1.35	B
	局計		52.32	33.75	
福祉保健局	西多摩保健所	前年度以下に廃棄量を減らす。	2.073	2.176	C
	南多摩保健所	廃棄量を前年度以下に減らす。	1.038	2.07	C
	多摩立川保健所	平年の水準(1.6t程度)を維持する。	2.254	2.749	B
	多摩府中保健所	大幅に目標を達成した27年度排出量2.6tの水準(移転前年度実績比95%)を維持する。	2.605	2.537	A

局	部	目標	前年度実績	平成28年度実績(t)	達成度
			平成27年度実績(t)		
福祉保健局	多摩小平保健所	廃棄物の排出量を前年度より削減する。	1.80	2.508	C
	島しょ保健所大島出張所	昨年度に引き続き、1t未満の廃棄量を維持する。	1	1	A
	島しょ保健所三宅出張所	前年度廃棄量以内とする。	3.13	1.24	A
	島しょ保健所八丈出張所	廃棄物を前年より増やさない。	1.2	1.2	B
	東村山ナーシングホーム	前年度排出量 \geq とする。	115.8	105.7	A
	監察医務院	前年度より排出量を削減する。	5.63	6.2	B
	広尾看護専門学校	廃棄物区分の明確化	3	2.9	A
	荏原看護専門学校	前年度の廃棄量を維持する。	15.2	15.9	C
	府中看護専門学校	昨年度の廃棄量の水準を維持する。	4.285	3.048	A
	北多摩看護専門学校	28年度は本校舎への移転があるため、昨年度より増加が見込まれる。よって、26年度の排出量3.97t以内にとどめることを目標とする。	3.10	2.96	A
	青梅看護専門学校	学校外からの持込ゴミをなくし、前年度廃棄量の維持を目指す。	2.03	2.16	B
	南多摩看護専門学校	前年度の水準を維持する。	1.74	1.8	B
	板橋看護専門学校	前年度廃棄量を維持できるよう努める。	3.283	2.384	A
	児童相談センター	可燃ごみ1%以上の削減	18.3	12.3	A
	北児童相談所	前年度より年間廃棄物量を減らす。	1.6	1.2	A
	品川児童相談所	職員の増加に伴い廃棄物も増加するが、前年度水準を維持する。	0.69	0.8	B
	立川児童相談所	庁内廃棄物の削減に努める。	8.44	9.5	B
	杉並児童相談所	事業所内廃棄物の減量に努める。	19.88	21.66	B
	江東児童相談所	前年度と同等程度の廃棄物量を目指す。(所の人員が大幅に増加しているため、一人当たり廃棄物量の減少を目標とする。)	55.99	67.2	C
	小平児童相談所	廃棄物量の量を削減する。	0.7221	0.54725	A

局	部	目標	前年度実績	平成28年度実績(t)	達成度
			平成27年度実績(t)		
福祉保健局	八王子児童相談所	廃棄物の減量に努力する。	2.498	3.115	B
	足立児童相談所	昨年度実績内に収めるように廃棄物の減量に努める。	16.2	17.88	C
	多摩児童相談所	廃棄物量の把握に努める。	1.9	1.2	A
	世田谷児童相談所	前年度の廃棄量を維持する。	8.12	7.42	A
	誠明学園	前年度と同等を維持する	24	24	A
	萩山実務学校	可燃ごみの廃棄量を前年度実績より5%を削減する。	12.4	12.3	A
	女性相談センター	前年度1%減量する。	7	7.6	C
	女性相談センター多摩支所	前年度よりも5%削減する。	0.086	0.082	B
	障害者福祉会館	前年度以下の廃棄量とする。	1.3	1.3	A
	北療育医療センター	分別収集を徹底し、リサイクルを推進する。	95.5	104.1	C
	北療育医療センター城南分園	一般廃棄物の減量に取り組む。	7.2	6.9	A
	北療育医療センター城北分園	前年度の廃棄量を超えないよう努める。	9.6	9.6	A
	多摩療育園	再利用、分別を徹底し無駄をなくす。廃棄物減量に努める。	4.66	5.18	B
	府中療育センター	所内廃棄物を昨年度同量程度に抑える。	222	225	B
	中部総合精神保健福祉センター	前年度の廃棄量を維持する。	5.7	3	A
	多摩総合精神保健福祉センター	前年度の廃棄量を維持する。	1.89	1.11	A
	精神保健福祉センター	前年度廃棄量を5%減量する。	0.76	4.06	C
	健康安全研究センター	廃棄物量を昨年度並みとして、よりリサイクルの徹底を図る。	57.0	63.5	B
	市場衛生検査所	昨年度の排出量を維持、または減量する。	1.37	1.36	A
	芝浦食肉衛生検査所	前年度以下に抑える。	1.2	1.399	B
動物愛護相談センター	廃棄量を前年度と同量以下に抑える。	1.72	2.23	B	
動物愛護相談センター多摩支所	廃棄量を前年度と同量以下に抑える。	1.19	1.25	B	
	局計		758.08	775.33	

局	部	目標	前年度実績	平成28年度実績(t)	達成度
			平成27年度実績(t)		
産業労働局	(出先機関全体)	リサイクル等を推進し、廃棄物量の抑制に努める。	16.8	14.426	A
建設局	(出先機関全体)	ごみ排出量を175t以下にする。	175	132	A
港湾局	(出先機関全体)	前年度の廃棄量を維持する。	26.7	35.35	B
教育庁	教職員研修センター (東部学校経営支援センターを含む)	昨年度廃棄物の水準を維持する。	15.48	6.135	A
	都立中央図書館	ごみの分別を図りリサイクル化を進める。	10.2	7.5	A
	都立多摩図書館	(H28度分より報告)		5.9	
	局計		25.68	19.54	
警視庁		前年度の実績を維持する。	523	537	C
消防庁		廃棄物の量を前年度より減らす。	137.1	143.4	B
		廃棄物の分類を徹底し、リサイクル率を上げる	83%	88%	A
総計			4292.95	4037.18	